

保育環境評価スケール 平成30年度 大野保育園 自己評価

空間と家具

子どもの遊びと幼児期にふさわしい学びを支える室内空間を魅力的に構成する

1. 室内空間	気持ちのよい生活ができる	7
2. 養護・遊び・学びのための家具	安心し、楽しく過ごせる	5
3. 遊びと学びのための室内構成	好きな遊びを選び、じっくり取り組む	5
4. ひとりまたはふたりのための空間	ひとりで落ち着く、または共に考え深めつづける	7
5. 子どもに関係する展示	自ら気づき、振り返り、他の人と興味関心を分かち合う	5
6. 粗大運動遊びの空間	身体を十分動かして充実感や満足感を得る	5
7. 粗大運動遊びの設備・用具	適切な活動を選び、進んで運動する	5

養護

子どもの安心・安全を確かなものにする

8. 食事/間食	食べることを楽しむ	6
9. 排泄	自分で用を足せる	7
10 保健衛生	自分の体を大切にしている気持ちを持つ	7
11 安全	安全に気をつけて行動する	7

言葉と文字

子どもが喜んで話し、文字に出会い、知りたくなるように助ける

12. 語彙の拡大	未知の言葉と出会い獲得する楽しさを感じる	7
13. 話し言葉の促進	よく聞いてもらって、話す楽しさを知る	7
14. 保育者による絵本の使用	絵本を読んでもらって共に楽しんだり、うれしい気持ちになる	6
15. 絵本に親しむ環境	絵本の楽しさ、探す・知る喜びを味わう	5
16. 印刷（書かれた）文字に親しむ環境	文字の意味や役割、必要性がわかる	5

活動

子どもがものに触れ、関わり、操り、つくり出し、夢中になることを支え、学びに向かう力を育てる

17. 微細運動（手や指を使う）	手や指を使い集中して遊ぶ	6
18. 造形	作ったり書いたりしてさまざまな表現を楽しむ	7
19. 音楽リズム	感じたことや考えたことを音や動きで楽しむ	4
20. 積み木	構成を楽しみ、思いを表現し、友だちと共有する	5
21. ごっこ遊び（見立て・つもり・ふり・役割遊び）	イメージを形にして楽しみ、友だちと共有する	6
22. 自然/科学	自然に触れ、好奇心や探究心を持つ	4
23. 遊びのなかの算数	遊びや生活のなかで数・量・形に親しむ	5
24. 日常生活のなかの算数	生活の必要に応じて数量などに親しむ	7
25. 数字の経験	数字の意味に気づく	4
26. 多様性の需要	人には違うところと同じところがあることに気づく	2
27. ICTの活用	テクノロジーで遊びや生活の幅を広げる	-

相互関係

気持ちが受容され、伝え合いをし、新しい考えを生み出すことを支える

28. 粗大運動の見守り	体を動かすさまざまな活動を十分に楽しむ	7
29. 個別的な指導と学び	1人ひとりの特性に応じた指導に支えられて学びに向かう	6
30. 保育者と子どものやりとり	子どもが尊重され、認められ、支えられる	7
31. 子どもどうしのやりとり	他の幼児の考えや感じ方に触れる	7
32. 望ましい態度・習慣の育成	自分でしなくてはならないことを自覚して行う	6

保育の構造

子どものよりよい生活を支えるクラスルーム・マネジメント

33. 移行時間と待ち時間	子ども自身が生活の見通しをもてる	7
34. 自由遊び	活動を楽しむなかで、自分で考えたり助けを得たりして自分で行う	7
35. 遊びと学びのクラス集団活動	他の幼児や保育者と親しみ合い、支え合う	7

平均	6.09
----	------

評価基準

1 2 3 4 5 6 7
不適切 最低限 よい とてもよい